



船舶に係わる標準化に関するアンケート（2023年度）



2023年9月28日
第38回標準部会

アンケートの実施概要

- ◆ 実施期間: 2023年 6月 20日～ 7月 26日
- ◆ 実施対象: 当協会の賛助会員及び標準部会(分科会、WGを含む)約200社(注)
(注) 団体賛助会員からその構成会員へ通知されているものは含まない。
- ◆ 回答数 : 73 (昨年度: 53、一昨年度: 59)

設問	質問内容	設問	質問内容
1	JIS F、ISO/IECの新規提案要望	5	船技協の標準化関連研修及びセミナーへの参加
2	既存のJIS F、ISO/IECへの改訂要望	6	その他
3	新規原案の作成又は既存規格の改訂作業に係る主導の可否(設問1.および2.に関連した設問)		
4	注目の新技術		

設問1: JIS F、ISO／IECの新規提案要望

◆ 回答数(意見有) : 1

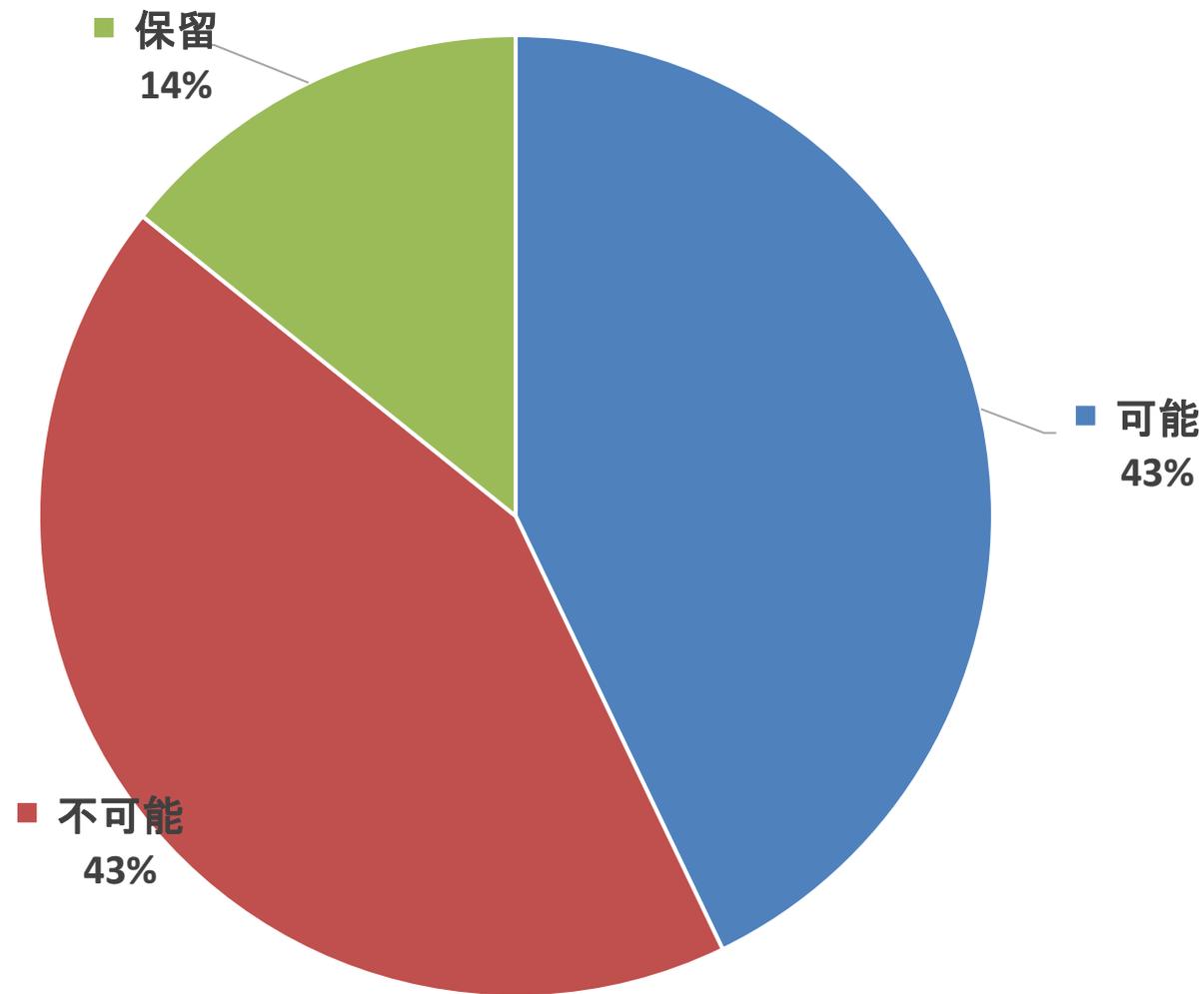
回答者	製品・試験名	概要	対応
船会社	電子ログブック	—	概要がなく、提案内容が分からないため、提案者へ確認中。 海洋オペレーションに於ける電子ログブックの使用上の技術的及び運用上の要件を取り纏めたISO 21745:2019は既に存在。

◆ 設問2: 既存のJIS F、ISO/IECへの改訂要望

◆ 回答数(意見有): 6

回答者	製品・試験名	概要	対応
舶用メーカー	NK鋼船規則 L編 アンカーチェーン の規則変更要望について 甲板機械及びぎ装分科会で、[JIS F 3303 アンカーチェーン]の規格変更の提案を申し入れて、審議会にて審査した内容になります。	(1)L編 3.1.8 寸法許容差 : アンカーチェーンの用途定義として、船用と港用に分けた場合、港用品として使用されるシャックル(エンドシャックルと連結用シャックルの外長と外巾寸法許容差を+5%、-2.5に変更拡大する内容になります。NK規則とJIS規格で運用が異なるのは、好ましくないと考えますので、変更を要望します。 (2)L編 3.1.9 質量 : 耐力試験後に測定することになっていますが、耐力試験の前に測定しても質量は変化しないので、測定し時期は特定しなくても良いのではないかと考えられます。	甲板機械及びぎ装分科会で、JIS F 3303(フラッシュバット溶接アンカーチェーン)の改正中。
造船会社	JIS F2014H F2026H等にSWLを願いたい	—	甲板機械及びぎ装分科会で検討中。
舶用メーカー	JIS F 9703	P.13 検査項目で耐電圧試験は取付け場所によっては必要無いセンサもあるので※2とするべきである。抵抗体のIEC,JISも耐電圧は指定時だけとなっている。	今後、提案企業と協議。
舶用メーカー	JIS F 0808:2009(船用電気器具環境試験通則)	EMC試験に関する規格が古く、IEC 60945に対し改正が遅れている。	対応を行うため、2024年度調査研究を計画。
舶用メーカー	JIS F8062:1996 (IEC 92-201:1994)	IEC 60092-201(Electrical installations in ships - Part 201: System design - General)は2019年版が最新で、内容も1994年版から多数変わっているので、JIS F8062も改正して頂きたいです。	電気設備分科会で今後検討。
舶用メーカー	JIS F2318 鋼製水密扉	アングルコーミング型もRを含めてほしい。	今後、提案企業と協議。

- ◆ 設問3: 新規原案の作成又は既存規格の改訂作業に係る主導の可否(設問1.および2.に関連した設問)
- ◆ 回答数(意見有): 7



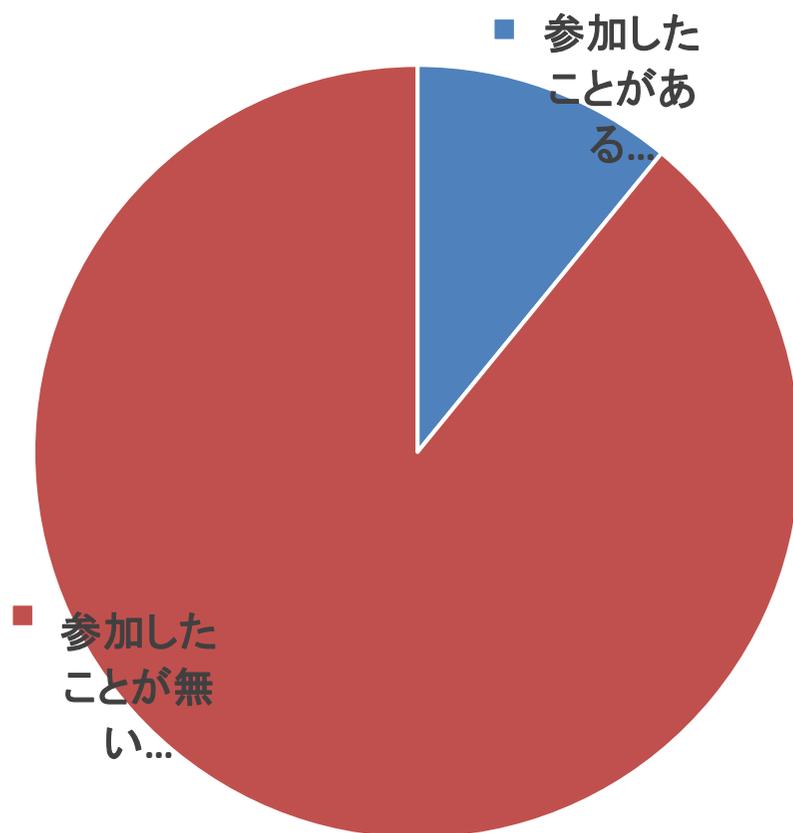
◆ 設問4: 注目の新技術

◆ 回答数(意見有): 15

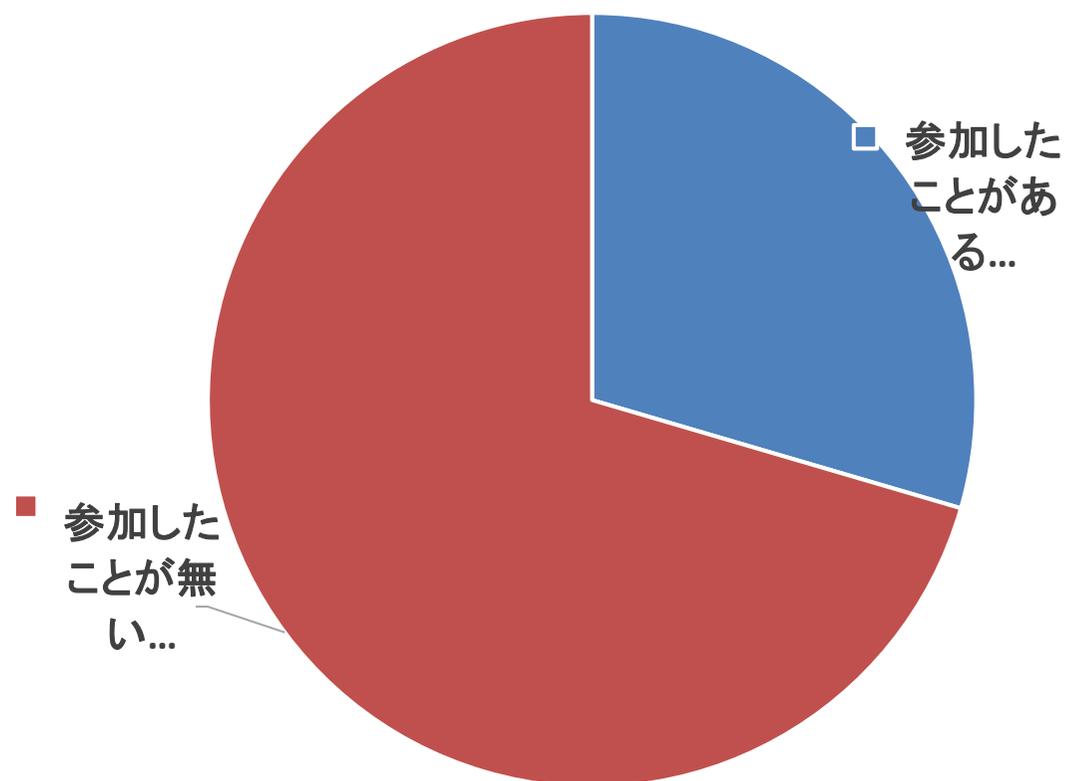
回答者	注目の新技術
造船会社	Cyber security
検査機関	アンモニア燃料船
船用メーカー	アンモニア、水素、メタノール等の新燃料
造船会社	液体水素用低温弁の標準化
舟艇メーカー	舟艇での電動及びオートパイロット
船用メーカー	自動運航、自律運航システム
船用メーカー	極低温(液体水素)測定技術
船用メーカー	新燃料取り扱いに関する規定など
船用メーカー	GHG削減・CO2回収技術
造船会社	引き続き環境対策
造船会社	アンモニア燃料船、船上CO2回収装置
造船会社	燃料電池、触媒、風力アシスト装置
船用メーカー	CCS関連技術、バッテリー関連
船会社	代替燃料に関する技術(安全対策について)
船会社	風力アシスト装置類、洋上風力発電、代替え燃料

◆ 設問5: 船技協の標準化関連研修及びセミナーへの参加(1/2)

標準化研修への参加



標準化セミナーへの参加



◆ 設問5: 船技協の標準化関連研修及びセミナーへの参加(2/2)

◆ 回答数(意見有):12

回答者	研修及びセミナーへの希望
船用メーカー	年間、どのようなセミナー・研修を実施されているか示して載きたい
検査機関	標準化セミナー
造船会社	機関部関連のセミナー
船用メーカー	標準化研修(初級)
船用メーカー	標準化研修(初級)
船用メーカー	ISO制定方法・活用方法・位置づけ等に関する基本的なセミナー
造船会社	環境規制・世界の環境規制動向
造船会社	標準化の実践例などの紹介
船用メーカー	標準化セミナーを続けてほしい
造船会社	新技術に関するセミナー
造船会社	定期的な最新情報の共有をお願いいたします
塗料メーカー	ISOに関する最新情報の得られるセミナーを希望いたします。

◆ 設問6: その他

◆ 回答数(意見有):6

回答者	ご意見
造船会社	JIS F英語版でF2001等、内容が網羅されていない項目は今後補間されていくのでしょうか
舟艇メーカー	分科会員です。継続情報収集にご協力をお願いします
舶用メーカー	IECとJISF及び船級協会の区別を付ける資料をまとめて欲しい
造船会社	特にはないが、JIS Fを知らない人が造船所にも多いと感じている
舶用メーカー	いつもありがとうございます
造船会社	定期的な最新情報の共有をお願いいたします